

第2回京北地域保育所の今後の在り方に係る検討会  
会議録

日 時	令和7年11月28日（金）17：00～19：00
場 所	弓削保育所
出席者	<p>保護者代表6名（各保育所2名）</p> <p>田中 京北自治振興会会長</p> <p>村山 京北自治振興会副会長</p> <p>樋口 京都市右京区役所京北出張所長</p> <p>野尻 京都市ひかり保育所長</p> <p>山本 京都市弓削保育所長</p> <p>和田 京都市周山保育所長</p> <p>香中 京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室公営保育所課長</p> <p>森下 京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室保育内容向上課長</p> <p>長坂 京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室保育施設支援課長</p> <p>高橋 京都京北小中学校校長（オブザーバー）</p> <p>事務局：京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室</p>
次 第	<p>&lt;議 題&gt;</p> <p>1 京北地域保育所の今後の在り方方針（素案）について</p> <p>2 全体を通して</p>

事務局	<p>それでは、定刻になりましたので、ただいまから、第2回京北地域保育所の今後の在り方に係る検討会を始めます。皆様、お忙しいところ御出席いただきありがとうございます。はじめに連絡事項をお伝えいたします。会議録作成のため、録音させていただきますので、御了承ください。また、第1回と同様、本日の検討会の内容は後日、周知ビラを作成のうえ、保護者をはじめ京北地域の皆様に全戸配布により周知し、京都市ホームページにも資料と会議録を掲載する予定としております。また、傍聴者の方は御発言いただけませんので、御了承ください。</p> <p>本日出席の検討会メンバーについて、周山保育所は保護者代表1名の御都合が合わず、代理の方に参加いただいております。また、地域代表として京北自治振興会からもう1名追加の意向があったため、今回から村山副会長にも検討会メンバーとして参画いただいております。</p> <p>本日の進行についてですが、限られた時間で皆様から広く御意見をいただき、有意義な議論を行うため、御発言はできる限り簡潔にさせていただくなど、効率的な進行に御協力をお願いします。時間内に発言できなかった御意見等ございましたら、お手元の意見票に記載いただき御提出ください。また、周知チラシ作成の関係で会議風景を写真撮影させていただきますので御了承ください。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、幼保総合支援室公営保育所課長から御挨拶申し上げます。</p>
公営保育所 課長 事務局	<p>(公営保育所課長 挨拶)</p> <p>まず、本日の資料の確認をお願いします。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>それでは、次第の議題に沿って進めさせていただきます。まず、「(1) 京北地域保育所の今後の在り方方針(素案)について」です。主に資料2を基に事務局から素案の内容について御説明いたします。</p> <p>(資料1～3を基に京北地域保育所の今後の在り方方針(素案)の説明)</p> <p>議論を進めやすくするために、資料2の「3 今後の基本的な在り方」、「4 新たな【仮称】京都市京都京北保育所」に向けてのアクション」、「5 中・長期的な保育所の在り方」の3つに区切って御意見をいただければと思います。それでは、まず「3 今後の基本的な在り方」について、御意見がございましたらお願いします。</p>
ひかり保護者	<p>第1回目の資料はもう少し具体的な内容が書かれていたが、今回は「子どもの最善の利益」など抽象的な書き方で、何か言葉にごまかされているような印象を受けるといった言葉が多かった。</p>

公営保育所 課長	この点に関しては、以前の意見交換会や保護者説明会の中でも本市として大事にしている観点ということでお伝えしており、それを要約して入れたもの。我々としてはこの部分は取り除くわけにはいかず、基本的な考え方として、まず子どもの最善の利益、望ましい保育環境をしっかりと維持・提供していくことを大事にしたいということをお伝えしたいのが、当該部分の考え方になる。
ひかり保護者	最善と利益とは何か、具体的な説明が欲しい。そのあたりは私も説明の仕方が難しいと思うので、どうしろとは言わない。そのように感じるという意見が1つあったということで、お伝えしておく。
事務局	他に特に意見がなければ、次に進めます。資料2の4～7ページの「4 新たな【仮称】京都市京都京北保育所」に向けてのアクション」について、御意見がございましたらお願いします。
ひかり保護者	これは私の意見でもあるが、元々1つに統合したいと考えていたものを、本園と分園という選択肢ができたという点は、少しは考えてくれるのかとありがたいが、本園と分園の2園を残すことができるのであれば、京北地域でバスの送迎ができない状況だった場合に、本園分園ではなく2園を残す形では検討できないのか。「原則、3歳から5歳までは本園」という記載をされると、分園を選びにくい。私はひかり保育所しか分からないが、ひかり保育所の場合、夏祭りや運動会は幼児さんが日々の生活の中でどんなことに興味があるか、どんなことがしたいか、生活の中で興味があることを題材にしていると聞いている。本園・分園の場合、1園よりはいいが、今実施している素晴らしい部分ができなくなるのかと思う。また、私も今日弓削保育所に来るのに、やはり結構時間がかかった。京北地域を考えた場合に、黒田から弓削保育所しかないという選択肢はありえないぐらい遠すぎると感じる。行政上、京都市としてお金がないなど、いろいろ問題はあるかもしれないが、純粋に保護者の観点からすると、2園で残すという選択肢は持てないのかと思った。ただ、開所時間の延長などが今の2園ではできず、本園・分園という形でしかできないなど、何か本園・分園のメリットがあるのであれば、そういった説明もしてほしい。本園・分園だと先生が自由に移動できるというのはあるが、それは保育所を運営する側の都合であって保護者の都合ではない。保護者にとって本園・分園のメリットが見られればと思う。本園・分園にして、例えば夏祭りが今まで1回なのを2回実施するなど、何かさらに良くなる形があれば教えてほしい。本園・分園がどうしても行政の都合だけに聞こえてしまう。
公営保育所 課長	基本的に保育の質の部分に関しては、資料2の4ページにある「(1)保育内容の充実及び京北地域の特色を生かした保育の展開」で記載しており、第1回目の検討会の中でも御意見をいただく中で、例えば地域とのつながりを大切にした行事などは大事に引き継いで実施をしていくなどは当然考えており、取組項目として挙げてい

	<p>る。本園・分園のメリットに関して、一時預かり事業やこども誰でも通園制度の実施、多様な保育ニーズへの対応は再編を契機として充実を図れるものと考えている。限られたリソースの中ではあるが、京北地域の子どもや保護者の方にメリットに感じてもらえるものを何ができるか、検討会でいただいた意見を踏まえてできる限り形にはしてきたつもりである。本園・分園の運営だけでなく、全体として検討会でいただいた意見を形作っており、伝わらない部分があるかもしれないが、新たな12の取組項目と、中・長期的な在り方も含めて、素案として提示させていただいていると御理解いただきたい。</p>
弓削保護者	<p>分園も受入が産休明けからにはなるが、本園は時間外保育ができて、分園はできないとなれば、アンケートなどで保護者に本園か分園かの希望を取るとした場合、本園は遠いけど、やっぱり本園に行こうという人が結局増えるかもしれない。それで分園の家庭数が減って、希望する家庭が1や2など、極端に少なくなっても分園は残るのか。</p>
公営保育所課長	<p>後ほどの中・長期的な在り方の部分になるが、素案の中で、分園については移転のタイミングで在り方について検討をすると記載をさせていただいている。基本的にそれまでの間においては本園・分園の一体的な運営を令和9年度から実施していくのが今の案としている。</p>
弓削保護者	<p>分園が何人であってもか。</p>
公営保育所課長	<p>仮定の話になってしまうので難しいが、第1回目の検討会の中でも、送迎の負担や、自然豊かな環境での保育を望む御意見など、ひかり保育所で現に預けられていらっしゃる方の御意見もいただいている。場合によっては本園に申し込みが増える場合もあるかもしれないが、ひかり保育所の保護者が分園を希望することも当然あるだろうし、今のところ何とも言えないが、必ずしも分園が極端に少なくなるわけではないと考えている。</p>
自治振興会会長	<p>第1回目の意見も全部聞いて、非常に苦勞されて素案を出されたと思う。黒田あたりの人だと、弓削保育所に来るよりは、当然ひかり保育所を残してほしいという意見になるだろうが、本園と分園に分けた場合、同じ条件でできること、できないことが出てくると思う。まずは、3つあった保育所を本園と分園にして、将来的にはできたら周山地域に移転したいという案で、第1回目の意見もほぼ全て検討され、非常によく意見を取り入れた形で作成していただいていると思う。分園が3～5人になることだってあり得るが、それはそうなった時に考えていくしか仕方がない。第1回目の意見が大方取り入れられたような形で今回の素案ができていますので、実際にこの素案で進めて、起こってくる問題について、そこでまた考えていくしかない。</p>

ひかり保護者	<p>実際ひかり保育所でもアンケートを取ったが、本園と分園の選択という点で、途中で変更できるのか、何回でも変更できるのかという意見はあった。令和9年4月に決めた後で変わることができるかは、切実な思いとしてある。</p>
保育内容向上課長	<p>それはどのような状況で考えられるのか。例えば、下の子が生まれたなどか。</p>
ひかり保護者	<p>そこは分からないが、仲良い子が皆本園に行ったなども考えられる。本園・分園のことをあまり分かっていないので難しい。</p>
保育施設支援課長	<p>毎日の生活で小さい乳児であればあちらこちらに行き来すると、負担にもなるので、変更しないといけない理由を一緒に考えて、保育する立場としても子どもに負担がかからないようにしたい。集団で子どもたちが心を通わせながら日々を暮らしてほしいと考えて、今回の案としている。その中で本園、分園をむやみに変更することは子どもにとってはあまりメリットがない気がする。本園か分園か決めていただいたなかで、子どもたちは様々な思いは持つが、そこにしっかり保育士が寄り添って気持ちを聞いたり、どういう思いかを一緒に共感して保育していきたい。心配なこともあると思うが、その思いを理解していただければ嬉しいし、私たちも精一杯その気持ちを持って取り組んでいきたい。</p>
ひかり保護者	<p>そうすると、先ほど話があった原則、幼児は本園というのは変わらないということか。結局、保護者の都合がつかなくてひかりにしか行けないなら仕方ないが、保護者の都合がつくのであれば弓削に来いということか。原則というのはそのように捉えてしまう。</p>
事務局	<p>これまで保護者から選択肢を確保してほしいという御意見をいただいております、そのあたりも踏まえて素案を検討している。ただ、本市としては、一人一人の個々を大切にする保育の中で、集団での活動もしっかりできる環境を、子どもが減っているなかでもできる限り確保したいという思いは以前から申し上げており変わっていない。その点で原則という表現をしているが、様々な考え方があるなかで、保護者や地域の皆様の意見を踏まえて現在の案としているので、本園に来いということではない。</p>
保育内容向上課長	<p>保育をする中で、子どもの中で育ち合ってほしいという思いがあるが、里山のゆったりした保育が望ましいと思われる保護者の方もいることをこれまでお聞きしており、分園の選択肢を提案させていただいている。</p>
弓削保護者	<p>私はひかり保育所が一番近いので、親としてはひかり保育所に通わせたいが、月齢の関係で弓削保育所に通っている。ただ、弓削保育所に入って、同じクラスの1</p>

	<p>歳児や2歳児さんにもものすごく可愛がっていただいたり、3～5歳のお兄ちゃんお姉ちゃんにもとても良い関わりをしてもらっていて、子どもにとってはやはり弓削に来てとても良かったなと思っている。令和9年度のタイミングで分園を選択することができるが、今弓削保育所で乳児の段階でもたくさん関わりを持たせてもらうことができている、親として分園に移ったら絶対に負担は楽になるが、子どもにとってそれが最善かどうかはものすごく悩みがある。分園に移った時に子どもが少なく、集団保育の良さが享受できなかったとしたら、難しい選択だと思った。先ほど自治振興会長がおっしゃられたように、分園の方がかなり少なかったら、その時に考えればいいということももちろん分かるが、当事者としては分園が実際どれぐらいの人数のイメージをされているのか、乳児とプラスその希望される3歳児以上がどれぐらいで、お部屋がどれぐらいで、先生がどれぐらいで、などそんなイメージはあるのか。</p>
事務局	<p>保護者に選択いただくので、現時点でそのイメージを持つのはなかなか難しい。これまでの御意見で、ひかり保育所をはじめ、集団は重視していないという声や多様なニーズがあるという御意見をいただいている中で選択肢をお示ししているので、分園を選択する方が極端に少ないということはないのではと思う。</p>
弓削保護者	<p>山国に住んでいる方でも周山や弓削に入所している方が多く、黒田の方は大体ひかり保育所を利用される方が多いと思うが、保育所を利用できる人は数えるくらいで少ない。</p>
公営保育所課長	<p>実際の児童数がどうなるのかという点はあるが、現ひかり保育所の施設を分園として活用することになるので、著しくスペースが小さくなるなどは当然ないし、保育士は児童数に応じて配置基準に基づき配置するため、著しく保育士がいなくなる状況を作ることもない。分園の運営については我々も検討していくべきところが多いが、安心してお子さんを預けていただける環境を作り上げていくつもりである。</p>
弓削保護者	<p>例えばお迎えが遅くなって17時半ぐらいにお迎えに来ると、乳児さんが全然なくて、ポツンとうちの子だけが先生と一対一で遊んでいるような感じにもなるのかと想像していた。</p>
保育施設支援課長	<p>実際にはそうなるかもしれないが、保育について、集団の必要性ということから、京北地域の保育所の検討はスタートしているが、どのような形でも一人一人の子どもを大事にして丁寧に保育することは市営保育所が最も大事にしていることである。仕事が遅くなる場合は、子どもたちを安心して預けてくださったら大丈夫。子どもがかわいそうだと思われたり、何か悪いことをしているみたいな気持ちに保護者の方になることもあるが、どの保育所でも最後に1人になる子はいる。ただ、そ</p>

	<p>の場合でも案外保育士とたっぷり遊べて、子どもにとっても保育士にとってもとても良い時間を過ごせることもある。</p>
弓削保護者	<p>お迎えが遅くなる場合はそうだが、例えば昼間の保育の時間帯に乳児であっても本園と分園で交流することなどは想定されているのか。</p>
保育施設支援課長	<p>まだ具体的な保育の形は決まっていない。</p>
弓削保護者	<p>乳児であっても、集団で生活する良さを与えてあげられたらいいなと思っているので、幼児は交流が頻繁にされているかもしれないが、分園に通うことになったとしても、本園との交流が乳児でもあるのか気になった。</p>
弓削保護者	<p>分園の話ばかりになるが、黒田地域の方など、ひかり保育所を残してほしいという意見が多かったと思うが、この素案を弓削保育所の保護者にはまだ見てもらっていない。この素案を皆に見てもらった時に、分園に行きたいという思いが強かった人も、今話にあったような様々な点や意見を聞いていると、本園に行こうかと気持ちが変わるかもしれないと思う。本園・分園の選択はどこかのタイミングで選択の前にアンケートなどを取る予定があるのか。それとも令和9年4月の前に一度だけ聞くのか。</p>
事務局	<p>現時点では素案の段階で確定しているわけではないので、意向の具体的な確認方法までは決められていない。どのタイミングで意向を確認するのかは、皆様の御意見を踏まえて考えていきたい。</p>
公営保育所課長	<p>今後素案が成案にできれば、我々としても具体的な運用を検討していかなければならないと考えている。ただ、令和9年4月に向けて、アンケートか申込なのか、何かしらの形で本園と分園どちらかを選択いただいて令和9年4月を迎える形になると思う。その後、年度途中に変更できるのか等、様々な御意見はあろうかと思うが、運用の中でいろいろな事例も踏まえて検討していくしかない。まず、子どもの保育環境が最優先であり、その点を踏まえて、我々行政も各保護者の皆様も選択を検討していただくことが一番大事だと考えている。具体的なことをお伝えできず申し訳ない。</p>
自治振興会会長	<p>第1回目の検討会など、ひかり保育所を残してほしいという方の意見が多くあって、この素案を作られたと思うが、実際に実施するまでに、今の保護者に本園・分園どちらに行きたいかというアンケートを取った方が良いかもしれない。もしこの分園に、2人や3人しか行かないとなった時に、それでも分園を作るのかという問題がある。保育所が1つになるのなら、良かろうが悪かろうが他に選択肢がないが、今回は選択肢がある。その選択の結果、分園の人数が少なければ、やっぱり本園に</p>

	<p>行こうかという形に変わってくる。現在の保護者にアンケートをして、本園か分園、どちらに人数が多いのか、答えを取られた結果で、分園を設置するかどうかを決めた方が良いと思う。極端な言い方をすれば、もし分園に行く人がいなかったら必要なくなる。資料3の意見も全て読ませていただいたが、確かに保護者の意見として、特に黒田の方などはひかり保育所を残してほしいという意見もあったので、この素案になったが、実際にどちらに行くかは分からない。</p>
弓削保護者	<p>地域としては、これから子どもを産む方や移住してくる方にとって近くに保育所がある環境はとても良いと思うが、令和9年度の段階で、分園に行った時にとっても子どもが少ないという状況があらかじめ分かるようになってほしい。もし分園を開設するのであれば、何人程度の希望者があるというような情報開示を段階的にしてもらえたらありがたい。ただ、やはり私は送迎で弓削保育所まで来るのが大変なので、例えば3歳からバスに乗せることができればいいと第1回目の時に意見は言わせてもらったが、そのような通園の負担の削減や軽減に関しては、あまり素案の中には入っていないのか。</p>
事務局	<p>資料3にも、いくつか送迎バスの御意見について本市の考え方を記載させていただいているが、保育の利用時間も家庭によりそれぞれで、ルートの設定などについても課題があり、持続的な運営という観点から言っても単純に保育所の送迎バスを運営することは難しい。ただ、その中で、開所時間の延長や分園の設置など、保育所として保護者の負担軽減につながることを考えた。</p>
公営保育所 課長	<p>資料3の番号13でも記載しているが、お伝えした通り、送迎バスは保育時間も様々でお迎えの時間や朝の登園時間も保護者により変わってくるという点もあり、正直なところ持続可能なものとして、すぐにこれを検討するのは厳しい状況である。その中で、分園の設置というのは、保護者への送迎負担の観点も配慮している項目である。送迎バスなども含めて検討させていただく中で、結果として本園・分園の一体的な運営というところに、送迎負担での御意見も含めさせていただいていると御理解いただきたい。</p>
弓削保護者	<p>京都市が移動費を負担するというのは、本園に黒田から来られる人はもちろん、細野や宇津なども遠いが、例えば何km圏内の方が対象など考えているのか。</p>
公営保育所 課長	<p>資料2の5ページに補足として記載している本園・分園の運営上必要となる移動費の市負担に関しては、活動内容に応じて、本園と分園合同で活動する場合に、例えば分園から本園に移動することもあるかと思うが、そのような保育所に預けた後の移動に関する費用と御理解いただきたい。</p>
弓削保護者	<p>難しいかもしれないが、送迎バスは現実的でない中で、必要な送迎の移動費の負</p>



	<p>担に対して補助が出ると良いという意見が弓削保育所の保護者からあったためお聞きした。</p>
弓削保護者	<p>小中学校の場合は、バスの定期券を配布してもらって税金で払っていただいてありがたいと思っている。保育所の送迎負担は、遠いところに住んでいるからといって、自己責任に今のところはなっている。ガソリン代がかかるのが嫌なら、保育所の近くに住みたいという方が出てきたり、京北良いなと思って移住したい方が、保育所の近くにしか来なくなってしまうことを懸念している。黒田にも新しい人が暮らしたいという思いもあるので、宇津や細野もそうだが、そのような地域を選んでもできれば送迎の負担が大きくないようにしてほしいと思う。バス送迎が難しいという話があったが、例えば行きだけでもいいし、小中学生の乗っているバスに、そのダイヤで乗れる人は乗ってもいいということにして、それが必須でなく、その送迎の方法も選べるようにしてもらうのはどうか。ふるさとバスのダイヤで合う人はそこに乗せてもらってもいいし、マイカーでの送迎でも選べるようになれば、少しは送迎の負担も減ると思う。昔は、3歳児以上は皆国鉄バスで保育所に通っていたという意見もたくさん聞いているので、できない話ではないと思う。</p>
事務局	<p>既存の公共交通機関を使って通所していただいているのは過去あったが、それは今であっても、ふるさとバスでちょうど良いダイヤがあって、それに乗って通所されること自体は可能性として考えられる。今回、追加で保育所の送迎バスを別途走らせることは厳しい中で、保育所でできることを考えて素案を作成している。</p>
弓削保護者	<p>ふるさとバスの既存ダイヤを使って、そこに保育所の子どもが乗るという可能性も出してもらえたら嬉しい。</p>
京北自治振興会会長	<p>現在のスクールバスやふるさとバスに乗って周山まで行って、周山から弓削保育所まで運ぶということは無理か。宇津からでも細野からでも、周山へのルートはある。朝1回、夕方1回時間を決めて、周山から弓削保育所までをマイクロバス1台で1回だけ走らせるのであれば実施しやすいかと思う。様々な場所から弓削保育所へのバスを用意することは無理だと思う。今後の課題として御検討いただければ。</p>
弓削保護者	<p>資料2の6ページの、京北地域全体で子どもの遊び場確保の観点について、土曜日に保育に支障が出ない範囲で、小学生の子どもがいる家庭などに保育所を一般開放すると書いているが、日曜日と祝日の選択肢はないのか。京北で子育てしていて、日曜日と祝日に行くところが何もない。亀岡や京丹後など、あとは京都市中心部でもこどもみらい館が日曜日に開いていて、行政の施設が日曜日に開いている。大津でも「ゆめっこ」という行政が実施している子育て広場があるが、京北にはそれが無い。土曜日に開放してもらえるのはもちろんありがたいが、事前申し込み制は少しハードルが高く感じる。日曜日や祝日、夏休みや冬休みの平日でも遊べるところ</p>

	<p>がないというのは、とても大きな課題だと思うし、他の亀岡や京丹後と比べて、京北が子育てしやすい環境なのかと思ってしまう。子どもが遊べるような施設が一つあるだけで、こんな施設があるならここで子育てしてみたいなって思ってもらえる地域になるのではないかな。せっかく統合するのなら、今使われてない例えば宇津保育所や、今回は周山保育所の跡地の活用を前向きに考えてもらいたい。</p>
公営保育所 課長	<p>関連の御意見については、資料3の番号20や25などでも記載しているが、保育士がいて安心してお子さんに遊んでもらえる環境という点も含め、土曜日の保育所開放を今保育所でできる具体的なアクションの1つとして挙げさせていただいている。さらに求める御意見等も当然あると思うが、京北地域は自然あふれる環境で、例えば土手滑りをみんなで楽しんだりなど、そんな遊び方も1つの京北ならではの遊び方かと思う。お答えにはなっていないが、既存の保育所を活用した遊び場について、保育士がいて園庭の中で安全性が一定あるなかでの遊び場も1つの選択肢として、今保育所としてできる具体的な案として提示している。</p>
弓削保護者	<p>既存の範囲でできるのは土曜日の園庭開放かと思うが、例えば小学校が統合して新しい小中学校ができた時に、その跡地活用の話もいろいろあって、第一小学校の跡地が「ことす（京都里山 SDGs ラボ）」として活用して、日曜日にマルシェの開催などもしていたが、もうなくなってしまった。第二小学校は子育て施設というより何か文化施設のような感じになっている。今回の跡地活用については子育てのしやすさをメインに考えて、何か新しいプラスアルファのことを考えていただけたら嬉しい。</p>
周山保護者	<p>質問だが、基本的にこの案は園庭を開放されるイメージか。園庭のみという認識でいたが、付け加えて室内でも遊べるのか。</p>
事務局	<p>園庭をイメージしていたが、室内でどこまでできるかは具体的に検討できていない。土曜日だと子どもの数も少ないが、保育所の子どもたちの安全確保の観点もあるので、どこまで開放できるかは検討が必要。</p>
周山保護者	<p>子どもの安全の確保という観点だが、保育士がいるから土曜日のみ開放で日曜日は保育士がいないから日曜日は開放できないという認識でいいか。</p>
事務局	<p>日曜日は職員がおらず施設の管理もできないので、そうなる。</p>
周山保護者	<p>そうであれば、個人的には保育所を普通に公園として利用したい。土曜日、日曜日、自分が仕事のない日、子どもが保育所のない日、どこか遊びに連れて行きたいときに、公園に行きたいけど、利用できる公園がない状態。あつたとしても草が生い茂っていたり、鹿のフンだらけであつたり、行きたくないようなところばかり。</p>

	<p>保育所の園庭を開放してくださるのであれば、当然親はついて行くので、そこに保育士がいてくださる必要はない。そのため、保育士がいらないから日曜日はダメではなく、保護者は絶対行くから日曜日でも空けていただきたい。また、事前申し込み制と言われると、じゃあやめておこうかなという気になる。その日の天気であったり、子どもの体調であったり、いろいろ考えて出かけるので、事前申し込みはそれだけでかなりハードルが上がる。保護者の同伴について、小学校高学年になったら子どもだけで公園で遊ばせることもあるかもしれないが、それは危険じゃないと親が判断しているからそうさせているわけで、親が危険だと思ったら基本的には親が同伴する。事前申し込みはなくしてほしいということと、親が土曜日であっても日曜日であっても同伴するので、土日祝も園庭開放してもらいたい。屋内であれば、土曜日しかできないというのは理解できる。</p>
公営保育所 課長	<p>どちらかというと園庭をイメージしていたが、屋内だから全く厳しいというわけではない。まず保育所のお子さんの安全を考えて、室内のレイアウトとかも含めて、安全性を確保できれば、チャレンジすることも考えられる。事前申し込み制などについては、お子さんの安全が前提なので、現時点で最初から大風呂敷を広げるわけにはいかず、実際に運用する中で、ハードルは徐々に下げていければ良い。</p>
保育内容向 上課長	<p>日曜日の子どもの遊び場について、保護者のお気持ちはとてもよく分かるが、施設を管理する立場としては、安全面が重要である。例えば日曜日に保育所の園庭で子どもが食べたおやつのごみがポケットから落ちてしまったり、ボタンが取れて落ちてしまうこともあるかもしれない。小さい子どもは何でも口に入れてしまうことがあるので危険である。園庭に出る際、月曜日に確認がより必要になる。そのように管理面を考えると怖いと思うところはあるが、歩み寄りが必要だと思うので、私たちも実施しながらより拡充する案の一つとしては考えていきたいと思う。</p>
周山保護者	<p>例えばボタンだったり、お菓子の包装紙だったり落ちていて、それを確認するのは日曜日ではなく次の月曜日の朝ですよ。</p>
保育内容向 上課長	<p>そうなる。保護者も注意していただけたと思うので、どちらにとっても安全に過ごせることが大事だと思う。</p>
公営保育所 課長	<p>事前申し込みや園庭以外の室内の開放について、歩み寄って考えていける部分はあるかもしれないが、日曜日に関しては、基本的には施設の管理上の問題が当然ある。機材を置いていたり、管理上の課題があるなかで、現時点で日曜日の開放を明確にお伝えはしづらい。今後、我々も検討できる部分はしていきたいと考えている。</p>
保育施設支 援課長	<p>なぜ事前申し込みをお願いするかというと、誰が来るか分からず自由に人が出入りする状態になると、保育所で子どもを見ている側からすると、お父さんやお母さ</p>

	<p>んと子どもたちが何人来てという情報を知っておきたい。ただ、事前申し込みといっても、「今から行っていいですか。」という簡単な電話でも全然大丈夫。例えば、感染症が流行っている時であれば、事前にお電話いただけたら、保育所でインフルエンザが流行っていることなどをお伝えすることもできる。ハードルが上がるというのは理解できるし、現実的には連絡を忘れて来られる場合などもあるかと思うが、安全確保をしてしっかり情報を伝えるという意味がある。</p>
周山保護者	<p>話を聞いていて頭が混乱してきた。土曜日の開放は令和9年度以降の周山保育所のイメージで考えていたが、そうではなく、合併後の弓削保育所での話か。</p>
公営保育所 課長	<p>そうである。</p>
周山保護者	<p>では合併後の周山保育所は、今の話のように公園として活用した方が良いと思う。事前申し込み制もなく、別にボタンが落ちていても包み紙が落ちていても、公園だと思ったらいい。誰か小さい子が口に入れたら、もちろん大変だが、それは致し方ない。別に先生もいなくていいので、周山保育所を公園として土日祝も事前申し込みなしで一般開放をしてくれたらありがたい。</p>
公営保育所 課長	<p>周山保育所を閉所した後の取扱いについて、細野保育所もそうだが、まず本園・分園体制にするうえで遊具の引き継ぎとか、環境面の整備を考えていくことと、仮に今の周山保育所を閉所した後に、その遊具が残って一般開放したとしても管理上の問題は当然ある。老朽化の問題もあり、人が使わなくなったら壊れ始めることもある。それで万が一子どもが怪我をしてしまうリスクなどもあり、今の時点で我々も案を持っているわけではないが、跡地活用を進めるうえで、そのような観点も踏まえて考えていかなければならない。</p>
弓削保護者	<p>市内中心部に住んでいた時には学区にいくつか児童公園があった。都市公園法か何かで設置が定められていて、どの地域も住民が公共の施設として利用できる公園があるはずなのに、京北にないのはなぜか。同じ京都市でも、一般的に遊具があって、休みの日に誰でも利用できる公園施設が京北にはない。跡地として京北第一、第二、第三小学校があって、そこに遊具が残っている。第二小学校は日曜日や祝日でも自由に子どもや親子が公園のように活用されている。同じように周山保育所など保育所も活用されれば良いと思う。管理が大変と言われるが、第二小学校はどう管理しているのか。</p>
自治振興会 会長	<p>山国の自治会が行っている。</p>
京北出張所長	<p>確かに京都市内では街区公園と呼ばれる建設局が整備した公園や、ちびっこ広場と言われる公園がある。どちらにも遊具があるが、全て地元が草刈りなど、管理を</p>

	<p>している。例えばちびっこ広場は家が一軒あったようなぐらいの広場に遊具がいくつかあり、遊具の整備は市が行うが、それ以外の草刈りやゴミ拾い、遊具のメンテナンスについては全て地元の管理している組合があたっている。以前は京北にもいくつか公園があった。例えば上黒田公民館の横や、周山にも老人児童センターの横にあった。利用者が減ってきて、地元の方も今まで子どもがいたので頑張って面倒を見て綺麗にされていたのが、だんだん子どもがいなくなって誰も遊ばなくなって、草が生えだして、鹿が入るようになり、管理ができなくなり、公園機能を諦めざるを得なかったということがある。先ほどの周山保育所も閉所したあと綺麗な今の状態を維持するのは難しくなってくるので、例えば利用される方で管理組合を作って、あまり過度の負担にならないように、掃除の日を月1回決めてその時に遊具も全部メンテナンスするなど考えていかないといけない。遊具は朽ち果ててくるので、年に一回ぐらいは塗装していかないといけなくなることも見込まれる。公園はこのように地域で面倒を見て、皆が遊べる環境を作ってきていただいている。非常に寂しいことではあるが、利用者と管理する人が一体になっていたところが少しずつ崩れてきて、今の状態になってきている。</p>
弓削保護者	<p>寂しい。少ないからなくすというのは分からなくはないが、実際今ここに保護者や子どもたちがいる。やはり私たちとしてはいくら少なくとも、公園的な施設があれば良いと思う。周山保育所の跡地も、そういった組合を作って、我々で管理しながらでも、遊具がせつかくあるのに使わないのはもったいないと思う。そのように使える仕組みを作っていけるような方向で話し合いができればいいと思う。</p>
事務局	<p>他に御意見はないか。</p>
ひかり保護者	<p>ひかり保育所ではアンケートを取って、いろいろな意見があったが、1つはひかり保育所を残したいという保護者もいる。一方で本園・分園ではなく、今の段階で1つにして、代わりに送迎が大変だから、本園・分園運営する費用を1つに絞ることでバス送迎をしてほしいという意見があった。1つの意見として御紹介する。</p>
事務局	<p>では、次に進めます。資料2の8～10ページの「5 中・長期的な保育所の在り方」について、御意見があればお願いいたします。</p>
自治振興会 会長	<p>今の小中学校を利用するとなった時に、小中学校の場合はあまりにも階段の高低差が大きく、エレベーターはあるが、全て上まで上がれるわけではないし、エレベーターで上がった後もエスカレーターをつけたり、乳幼児が上まで上がれるような手摺の設置など、設備面で小さな子どもでも上の校舎まで行ける形を作ってもらわないと、今のままでは無理かと思う。</p>
事務局	<p>確かに御意見の一つに今の小中学校の空き教室を使って保育所を作るという案</p>

	<p>も出てはいるが、今おっしゃっていただいたような課題もある。素案の中で中・長期的な在り方として記載しているのは、公共交通網や災害リスク等を踏まえて、エリアとしては小中学校や合同庁舎がある辺りに新しい保育所を作った方が良いという考え方を示しているもの。具体的な場所はまた素案でも示せているわけではない。小中学校の中を活用するのも一つの案ではあるが、近くの土地に新しく建物を建てるということも考えられる。</p>
公営保育所 課長	<p>補足だが、資料３にもあるように、第１回の検討会でも小中学校の空き教室を活用したらどうかとか、向かいにある旧第一小学校を活用したらどうかという意見もある。複数の選択肢が考えられるが、そのあたりは今後の検討の部分として、まずは大きな在り方を素案としてお示ししていると御理解いただきたい。</p>
ひかり保護者	<p>この検討会が来年の３月までという前提の中で、先ほどの「４ 新たな「【仮称】京都市京都京北保育所」に向けてのアクション」の項目はいいとして、市として「５ 中・長期的な保育所の在り方」に踏んでいきたいという方針だとは思いますが、「５」が前提で「４」があるというありきで打ち合わせをしないといけなくなる。そもそも今のこの短い期間の中で、具体的な保育所再編の内容でも様々な意見があるのに、この中・長期的な在り方を来年３月までに絶対議論しないと先に進めないのかという意見があった。この中・長期的な在り方を先に決めてしまうと、１つになるという前提で今このように進めていることが既定路線になってしまわないか。考えないといけない項目ではあるが、今急いでいるタイミングの時にどうなのかと思う。</p>
公営保育所 課長	<p>新たな保育所の設置場所については資料３の番号１５、１６や２７、２８のように、様々な御意見をいただいているところである。今年度中の議論の中では、確かに「４ 新たな「【仮称】京都市京都京北保育所」に向けてのアクション」の部分が議論の中心になると思う。中・長期的な在り方として保育所の新設移転を具体化していこうとなれば、予算の話にもなり、具体的な設計をどうするか、既存建物を活用できるかできないか、複合施設にできないかなど、様々な考え方が出てこようかと思う。そのあたりはこの素案段階で固めることは基本的にできないので、大きな方向性として御理解いただきたい。具体的な場所まではおそらくこの検討会の中で確定できないと考えている。</p>
ひかり保護者	<p>京都市としてこう考えているだと良いが、この検討会の結果として出してしまうと、当然どういう議論をしたかという話になる。</p>
公営保育所 課長	<p>検討会や検討会後の御意見の中でも、保育所の場所については地域や保護者の方からも意見がでており、検討会の間に、いろいろな御意見をお聴きして、目指すべき形として大きな方向性を示しておくべきと素案段階では考えている。</p>

周山保護者	<p>今日であれば傍聴の方は発言できない。発言したい意見を持っている方がいるから、検討会後に熱量のある意見が送られてきたと思う。この会だけでなく、京北の全住民が発言できるような、発言したい人が発言できるような会は開催されないのか。今後、中・長期的な在り方として、小中学校付近で新しく建てるのであれば、この検討会だけで決定するのではなくて、全住民が参加できるような場で説明があつてしかるべきかと思うが、検討されているか。</p>
公営保育所 課長	<p>この検討会は、京北地域保育所の在り方の検討をしていこうというもので、皆様に御参画いただき、そのうえで様々な御意見をいただいているところである。その内容を踏まえ、最終的に本市として判断をして決めていくという形になる。この検討会の状況というのは、チラシを作成して、他の保護者や地域の方にも御意見をお聞きかせいただけるよう、そのようなステップをはさみながら取り組んでいる。直接的なお答えになっているか分からないが、御意見を踏まえながら、最終的な在り方方針を本市において策定できればと考えている。</p>
周山保護者	<p>私たちだけでなく、配布された資料を見て、意見のある方は意見を送ってもらうということか。</p>
公営保育所 課長	<p>第1回検討会後にも、地域や保護者の方から御意見をいただいている。その内容は資料3に掲載している。そのためにも周知チラシを作成させていただいている。</p>
自治振興会 副会長	<p>今日初めて参画したが、今後の年度内の流れと、令和9年度に向けてのタイムスケジュールやフローチャートを聞かせていただきたい。</p>
事務局	<p>本日の検討会終了後には、できる限り速やかに摘録や周知チラシを作成し、京北地域の皆様にチラシを全戸配布する。全戸配布は毎月10日と伺っているので、12月10日の京北地域の全戸配布に間に合わせて、今回の内容をまた広く周知し、御意見をいただく。その後、1～2月頃に第3回検討会を開催し、今後の在り方方針を取りまとめ、最終的に市として今年度中に方針を策定することを目指している。来年度からは、策定した方針の実現に向けての必要な説明や準備をしていくイメージである。</p>
事務局	<p>では次に議題の「(2) 全体を通して」に移ります。例えば保護者代表の皆様が、他の保護者の方から聞いていただいている御意見でまだ紹介できていないものなどあればこの場でお願いします。それ以外でも、全体を通して何か御意見があればお願いします。</p>
ひかり保護者	<p>ひかり保育所ではアンケートを取ったが、熱い文章ばかりで内容が多く、この場で説明するのがなかなか難しい。以前、保護者に説明会を開いてくれたように、こ</p>

	<p>の第2回検討会の後に説明会を開いてほしいという要望をしたら可能か。</p>
事務局	<p>即答は難しいが、今の検討している段階での説明会ということか。</p>
ひかり保護者	<p>ひかり保育所の保護者に聞いてみないと分からないが、この第2回で素案が具体的に出てきたので、いろいろ聞きたいことが出てくると思う。各保護者に聞いているわけではないので分からないが、特に分園みたいな話になると、おそらく聞きたい人はいっぱいいると思うので、京都市と直接話せる場を作って欲しいという人がいた場合に、そのような人たちのために実際に当事者となる方の声を聞いてもらえる会を開いてもらえると嬉しいなと思った。</p>
事務局	<p>我々としては、検討会で議論をして、それをできる限り分かりやすく周知をして、保護者に限らず地域の方も含めてどなたからでも御意見をいただけるようにするというのが基本的な進め方の考え方ではあるが、それに加えてということか。</p>
ひかり保護者	<p>やっぱり文章だけだとなかなか伝わらないというか、正直保護者のアンケートの気持ちを伝えられている自信もない。そう言いながらやっぱり説明会は要りませんとなるかもしれないし、ひかり保育所だけでなく他の保育所の方の思いもあると思うが、説明会は必要ないか。</p>
公営保育所 課長	<p>7月30日、31日、8月1日と、検討会を開催する前に保護者説明会を開催させていただいた。先ほど事務局から伝えた通り、第3回の検討会を終えて、今後の在り方をまとめたら、改めて保護者説明会の開催なども考えられる。今の素案の段階で、言葉で具体的な説明をして欲しいという場について、全く拒否するわけではないが、もしそういう声があれば、個別に御相談していただくしかないと考えている。</p>
ひかり保護者	<p>私も保護者に確認してみて所長を通して連絡させていただく。</p>
公営保育所 課長	<p>チラシの配布など我々も努めているところではあるが、この検討会という形で、保護者の代表の方に集まっていただいて、検討を進めているところではあるので、もしそのような声があれば、適宜御相談いただきたい。</p>
ひかり保護者	<p>もう一つ教えてもらいたいのが、資料3の番号が34までであったが、意見の数がその程度だったと思っていいか。</p>
事務局	<p>第1回検討会後にいただいた意見は全て記載している。番号1から26までが第1回検討会の中で出た意見で、27以降が検討会後にいただいた御意見である。</p>



周山保護者	<p>先ほど分園の議論の際に、事前にアンケートを取って分園の人数が極端に少なかったら、本園だけにするという選択肢もあっていいのではという話があったと思うが、私も初めは別に1つで良いかと思っていたが、本園と分園にする理由は、少人数制の保育を望む保護者が選択できるように選択肢を作ることが目的だと思った。分園に行く人が少ないから、本園だけにするというなら、そもそも選択肢を作るという目的に沿っていない気がする。私たちが初め言ったことを今日覆すようなことを言ってしまうのかなという気持ちを持ちながら、一貫性がないような印象を持ってしまった。だからどうしたらいいかというのが曖昧だが、少人数制で手厚く、保育士と1対1や子ども2、3人の保育を望む人がいるかもしれない。今いなくても今後生まれる子どもや、移住してくる人で望む人がいるかもしれない。そんな保育ができるから移住してくる人がいるかもしれないということで、選択肢を作るのが目的かと思う。人数が少ないから、本園だけにするのは何か違うと思う。</p>
事務局	<p>他には御意見はございませんか。では本日の議題は以上となります。本日議論した内容やいただいた御意見を踏まえて、さらに今後の在り方方針の内容を精査していきます。次回、第3回検討会は1月から2月頃を予定しており、これまでの御意見を踏まえて今後の在り方方針を取りまとめたいと考えております。具体的な日程調整は別途させていただきます。会場は周山保育所を予定しております。</p> <p>以上で第2回京北地域保育所の今後の在り方に係る検討会を終了します。皆様お忙しいところ御参加いただき、また長時間にわたって様々な御議論いただきまして、誠にありがとうございました。</p>